

三重県聴覚障害者支援センター
第三者評価委員会
評価報告書（平成24年度第3期）

平成25年2月

1. 会議等の名称 平成24年度第3回三重県聴覚障害者支援センター評価委員会
2. 開催日時 平成25年2月13日(月) 19:00~22:00
3. 開催場所 三重県聴覚障害者支援センター 会議室
4. 出席者

(1) 委員

佐藤 俊通(三重県聴覚障害者支援センター 委員長)
三浦 正敏(三重県聴覚障害者支援センター 副委員長)
山崎 靖子(委員)
横山 慶(委員)
脇田 愉司(委員)
西尾 恵子(委員)

(2) 三重県聴覚障害者支援センター

深川 誠子(センター指定管理者 三重県聴覚障害者協会 会長)
倉野 直紀(センター指定管理者 三重県聴覚障害者協会 常務理事)
山本 喜秀(センター長兼務支援課・ライブラリー課責任者)
那須 万美子(センター派遣課 責任者)
加藤 恵美(センター養成課 責任者)
田代 慶臧(センター相談事業 担当者)
矢野 玲子(センター職員)

5. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 前回評価委員会で指摘された事項について改善報告
- (2) 事前質問事項への回答及びそれに対する質疑応答
- (3) 三重県聴覚障害者支援センター 第3期業務報告の検証
- (4) その他

【審議の内容】

(1) 前回評価委員会で指摘された事項について改善報告

- 前回の評価委員会で指摘された事項の改善点について報告

(回答)

- ① 来所者の感想や意見を記載してもらうノートをビデオライブラリーの部屋に置いた。
自由に記載してもらうように「書ききノート」のような形式にした。
- ② 班会議資料については、本日配布します。
- ③ 収支計画書については、本日配布します。

(2) 事前質問事項への回答及びそれに対する質疑応答

- P6 統一試験強化学習会の項の記載について

意見：事業に関わっている人はわかるかもしれないが、要約筆記者と手話通訳者の区別がつかない

人もいる。誰が見てもわかるように明記してほしい。

●字幕ライブラリー作品の製作について

質疑：現時点で9本制作。成果目標までに残り15本あるが、4期で15本の編集は可能か？

応答：今まではその都度取材編集をしていたが、方法を変え、取材計画に沿って取材はすべて終了している。あとは編集作業のみなので目標は達成できると思う。

質疑：スタッフ（ボランティア）が足りないのではないか。人員を増やす計画はあるのか？

応答：スタッフを希望している人がいるので、まず学習してから作業にあたりたい。

質疑：制作題材はどのように決めるのか。要約筆記機材の使い方のビデオを作ってほしい。支援センターに要望書を出したらいいのか。

応答：要望があれば対応していきたい。

意見：スクリーンは扱い方が悪いと伸びてしまう。要約筆記以外でも使用するので、みんながわかりやすいように作ってもらうとありがたい。

意見：ループの使い方についても取り扱いのためのビデオを作ったらどうか。

●ビデオ上映会について

質疑：聾学校夏祭り以外に実施したのか。

応答：センター見学を訪れた人たちに、センターが制作した施設紹介ビデオを見てもらっている。1回あたりの人数は10人くらい。多い時で30人くらい。報告の数字は人数であり、回数ではない。

●視聴ブースについて

質疑：視聴ブースはどこに設置したのか。

応答：ビデオライブラリーの部屋、職員に声をかけてもらえば見ていただけるし、操作を手伝える。

●相談事業について

質疑：前期に比べ相談件数が増えている。前期では対応が難しいという報告があったと思うが、今回は問題なしという回答。何か工夫をしたのか。

応答：一応、毎日1名は対応できるが、相談員2人とも不在の場合は後日に予約をしてもらうようにした。

質疑：相談員が足りないということはないのか？

応答：相談者から事前に電話があり、来所日と時間を確認するので、相談できずに帰ったというケースはない。地域相談会を実施するなど、センターに相談に行けるということが周知されるようになったと思う。

質疑：遠方の人に対して出前相談はあるのか？

応答：あります。

質疑：地域相談会3回の中で1回目は1月だった。どのような内容だったかを、支障のない範囲で教えてほしい。

応答：手帳を持っていない難聴者からの相談。高齢者から自治会会議に参加したいが、「聴こえにくい」ため、参加できないケースとか。補聴器など通信販売品の品質への不安など。

●災害の取り組み

質疑：11/30に市町福祉課長会議にて、災害の取り組みについて説明をしたようだが、内容と課題があれば教えてほしい。

応答：10～15分、時間を作ってもらって、話しをした。協定の内容をもっと詳しく知りたいなどの問い合わせがあった。

質疑：協定の進捗状況は？

応答：進んでいない。サポーター養成、物資の調達など、人材・物資の準備を整えてから協定につなげていきたい。

質疑：サポーターは手話や要約に関係のない一般人を集めるのか？それともサークル会員を養成するのか？

応答：まず関係団体から募る。その後、一般にも働きかける。

●ビデオ制作の受注について

質疑：働きかけはまだという回答だが、依頼があるまで待っているのか？アピールはしているのか？

応答：4期にケーブルテレビや三重テレビと字幕の交渉をしていきたい。その後、市町と交渉していきたい。

質疑：既存の資料に字幕や手話をつけるのはありか？

応答：OKです。貸出もしていきたい。

質疑：県が作成した防災の啓発ビデオがある。字幕・手話付き制作に向けて、優先的に交渉してほしい。

応答：わかりました。

(3) 三重県聴覚障害者支援センター 第3期業務報告の検証

●収支計画について

質疑：事業項目の中で収支について気になっているが、予算の消化が進んでいないところがある。なぜか？

応答：進んでいない項目はライブラリー事業。ビデオ制作がまだ進んでいないので。しかし、研修は、講師の都合で予算よりも少なくなったものもある。

●要約筆記者養成講座について

質疑：開始時期を決めてほしい。市町が来年度体験講座の予算をとる関係もあるので、養成班を招集して決めてほしい。

応答：イベントが重ならないように調整をした県の予算が議会で採決されるのが2/26、それ以降早急に公開したい。講座は8月あたりから開講。その前に説明会を開催する。3月には日時を公開する。

●班活動について

質疑：センターとしては予定どおりに進んでいると考えているか？

応答：派遣・養成・健康の会議は開かれている。リーダーからの報告ももらっている。

質疑：立ち上げた時の予定どおりに進んでいるのか？

応答：進んでいると考えている。センターが事業を進める際、出てくる課題への取り組みを行なっている。班によっては県との話し合いを行なっている。

質疑：他の班で協議された結果や成果はホームページやセンター便りに載せる予定は？

応答：原則として考えていない。ただ、内容によっては、現任研修や同意書送付時に同封することもある。

質疑：会議の状況などホームページへの公開は考えているか？

応答：公開できる範囲はホームページに載せて周知していきたい。

●施設利用者登録について

意見：センターホームページのサークル紹介は手話のみ。要約筆記の掲載もほしい。

応答：利用登録団体紹介で掲載する。

●手話通訳者、要約筆記者新規登録者数について

質疑：新規登録は10人以上となっているが。

応答：まだ試験の合否がわからないところもあり、厳しいかも。それに要約筆記者の養成は来年度から始まり、2年間を要する。

意見：達成できない時どうするかも問題。試験合格に向けてフォローアップを手厚くするなど検討してほしい。

●評価委員会のあり方について

質疑：今後も、事前に評価委員が報告書を読んで協議をし、会議に臨むという方法でいいのか。

応答：今後もその方法でお願いしたい。

●難聴者手話教室について

質疑：難聴者の手話教室を夜間開催し、継続して勉強できる場がほしい。平日夜間、月1回開けないか？

意見：土、日に開いてほしい。遠方の方は平日の夜間は無理。予算の許す限りお願いしたい。

(3) その他

【決定事項】

今回、「前回、評価した内容についてどのように改善されているか検証が必要。前回の改善点を次期の評価委員会で検証できるよう、毎回、改善点を議題としてあげる。評価委員会を効率的に進めるためにも、評価委員から事前質問を提出し、センターから当日回答してもらう」というやり方は良かった。今後もこのやり方で行く。

6. 配布資料

- 三重県聴覚障害者支援センター 2012年度第3期報告